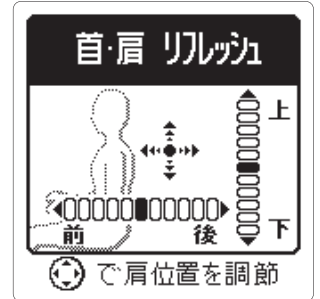


カンタン操作ガイド



自動コースの使い方

- 1 **入/切** を押します。(脚部が自動的にあがります)
- 2 **自動** を押します。
- 3 **決定** で好みのコースを選択し、**決定** を押す。



- 4 体形検出動作が始まります。
- 5 肩位置が合わないときは、**決定** を押して調節し、**決定** を押す。
- 6 自動コースが終了すると、もみ玉が収納位置まで戻ります。

自動コース動作中の調節

メカ(もみ玉)によるマッサージの強さを調節

決定 を押して調節し、**決定** を押す。

肩位置・もみ玉位置を調節

メカ(もみ玉)が肩・背付近にあるとき高さ調節の **▲** **▼** を押して調節し、**決定** を押す。

腰極もみ・腰極たたき位置を調節

メカ(もみ玉)が腰付近にあるとき高さ調節の **▲** **▼** を押して調節し、**決定** を押す。

腕もみ/腕つかみを選択する

腕 を押して **決定** で「腕もみ/腕つかみ」を選択し、**決定** を押す。

腕のエアーマッサージの強さを調節・入/切

腕 を一度押してから **腕** を繰り返し押すと調節でき、**決定** を押す。

エア-によるマッサージの強さを調節

決定 を押して調節し、**決定** を押す。

エア-オプションの入/切

メニュー を押して **決定** で各オプションに合わせ、**決定** で ON/OFF を選択し、**決定** を押す。



(パルスをOFFにする例、)
決定 を押す。

肩のエアーマッサージの強さを調節・入/切

肩 を一度押してから **肩** を繰り返し押すと調節でき、**決定** を押す。

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

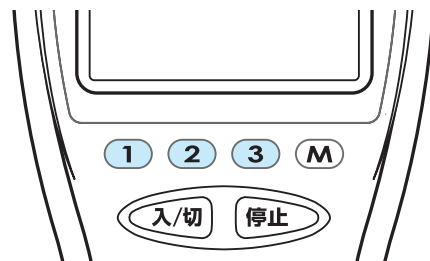
カンタン操作ガイド

詳しくは、取扱説明書をお読みください。

クイックモードの使い方


- あらかじめプログラムされた身長別の標準体型に合わせた自動コースが選べます。ポイントナビが作動しませんので、すぐにお使いになりたいときにおすすめします。

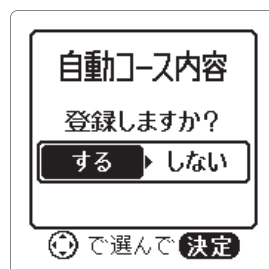
- 1 **入/切** を押します。(脚部が自動的に上がります)
- 2 **1 2 3 M** のいずれかを押す。
- 3 お好みのコース選択、肩・腰位置微調節は、おもて面の自動コース動作中の調節をご覧ください。



メモリー登録のしかた

- あらかじめプログラムされた自動コースの変更、登録をすることにより、オリジナルのコースを使用することができます。

- 1 **入/切** を押します。(脚部が自動的に上がります)
- 2 **M** を2秒間長押しする。
- 3 お好みの自動コースを選択し、ご自分に合わせたマッサージを行います。
(おもて面の「自動コース動作中の調節」をご覧ください、ご自分に合わせて自動コース内容を変更してください)
- 4 自動コースが終了したら、メモリー登録の画面が表示されます。
 で、「する」・「しない」を選択し、**決定** を押す。



次回より **M** を押すだけで、ご自分に合わせたマッサージを行います。

安全上のご注意

警告

- (1) 次の人は、使用しないでください。(身体に異常が起こる場合があります)
 - 医師からマッサージを禁じられている人
(例) 血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎、皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む。)など
- (2) 次の人は、使用前に医師に相談してください。
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
 - 悪性しゅよう(腫瘍)のある人 ● 心臓に障害のある人 ● 妊娠中の人。または、出産直後の人 ● 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ● 皮膚に創傷のある人 ● 安静を必要とする人
 - 体温38℃以上(有熱期)の人(例：急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期、衰弱している時。)
 - 骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、急性[とう(疼)痛性]疾患の人 ● 背骨(脊椎)に異常のある人。または、背骨が左右に曲がっている人 ● 捻挫、肉離れなど炎症性の人 ● 椎間板ヘルニア症の人
 - その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人
- (3) リクライニングするときや脚部を上下、伸縮するとき、うしろや脚部の前、下などに人やペット、物がいないことを確認する。
- (4) 脚部を下げるときは、脚部の下に足や手をはさまないようにする。また、脚部の下に人やペット、物がいないことを確認する。
- (5) ご使用前に背パットを上げて背もたれ部の布地が破れていないか確認し、その他の部分にも破れないか確認する。
(小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください)
- (6) 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。
- (7) 子供だけで使わせたり、自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (8) 子供に椅子のうえで遊ばせたり、上に乗らせない。
- (9) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。
- (10) 動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めのご購入先に点検・修理を依頼する。